

(余白 20mm)

主題は、フォント明朝 13 ぽ、ゴシック。副題は、フォント明朝 11 ぽ、ゴシック。それぞれ、行間は 1 行に設定、中央配置。

【〇〇論文】

技術史教育の展望について

著者名は、フォント明朝 11 ぽ、ゴシック。行間は 1 行に設定、左揃え、中央配置。

— 学校と社会の関わり —

◇ (明朝 11 ぽ、行間 1 行で 1 行空行)

技術 史郎 (〇〇大学)

教育 道子 (〇〇学園高等学校)

◇ (明朝 11 ぽ、行間 1 行で 1 行空行)

フォント Times New Roman、サイズ 10.5 ぽ、行間 1 行。主題は大文字、副題は先頭だけ大文字。

A SCOPE ON EDUCATION FOR HISTORY OF TECHNOLOGY

—Relationship between School and Society—

◇ (明朝 10.5 ぽ、行間 1 行で 1 行空行)

Shiro GIJUTSU: The University of 〇〇

Michiko KYOIKU: 〇〇 High School

◇ (明朝 10.5 ぽ、行間 1 行で 1 行空行)

名(小文字) 姓(大文字): フォント Times New Roman、サイズ 10 ぽ、行間 1 行。

Abstract: はゴシックフォント Times New Roman、サイズ 10 ぽ、行間 14 ぽ。

Abstract: This paper deals with the current

Key Words: はゴシックフォント Times New Roman、サイズ 10 ぽ、行間 14 ぽ。

Key Words: history of engineering, social education, Museum of Tokyo, work shop

◇ (明朝 10.5 ぽ、行間 1 行で 2 行空行)

1. はじめに

わが国における学校教育、とりわけ高等学校においては、

であることが、大島ら^{1,2)}により指摘されている。

。本論文では、
について論じる。

◇ (明朝 10.5 ぽ、行間 1 行で 1 行空行)

2. 現代の教育環境

◇ (明朝 10.5 ぽ、行間 1 行で 1 行空行)

3. 事例

3.1 東京都の場合

図番とキャプションは下に。フォント明朝、サイズ 10.5 ぽ、行間 1 行。

表 1 参加学校数

◇ (明朝 10.5 ぽ、行間 1 行で 1 行空行)

表のキャプションは上に。フォント明朝、サイズ 10.5 ぽ、行間 1 行。

◇ (明朝 10.5 ぽ、行間 1 行で 1 行空行)

図 1 活動状況の写真

注) 日本技術史教育学会****年度**研究発表講演会にて講演

(余白 25mm)

(余白 20mm)

和文文献については、フォント明朝 P、サイズ 10.5 ポ、行間 1 行。
英文文献については、フォント Times New Roman、サイズ 10.5 ポ、行間 1 行。
文献番号は、半角

(余白 20mm)

(余白 20mm)

◇(明朝 10.5 ポ、行間 1 行で 1 行空行)

5. おわりに

本論文では、
について論じた。まとめると、以下の通りである。

- 1) 著者らは、

◇(明朝 10.5 ポ、行間 1 行で 2 行空行)

要旨：わが国では、
である。本論文では、
であることが明らかにされた。

フォント明朝、サイズ 10 ポ、行間 1 行、400 字以内。
「要旨」だけゴシック体。

と指摘した。

- 2) とくに、
- 3) 以上から、

であることが明らかにされた。
末尾ながら、
△△△氏に、謝意を表します。

◇(明朝 10.5 ポ、行間 1 行で 1 行空行)

文献

- 1) 大島春雄・小島夏子: ○○○に関する調査研究, 技術史教育学会誌, 第 10 巻 2 号, pp.12-20, 2009, 技術史教育学会
- 2) Shiro Gijutsu: Studies on ****, Int. J. on Education & History of Technology, Vol.12, No.3, pp.256-265, 1999, *** Press
- 3) 清水清: 『技術』, pp.38-40, 2003, ○○書房

(余白 25mm)